助成・寄付寄贈報告

- ◆ 静岡県社会福祉協議会様　ふれあい基金　しずおかの居場所助成事業　助成金
- ◆ みつばち伊豆「みかん」へ
  - ➢ うさぎ薬局　修禅寺支店様　手指消毒剤、ボックスティッシュ、ポケットティッシュ
  - ➢ 会員様ほか：絵本、文房具、おもちゃ、座卓、ガスコンロ、冷蔵庫、本棚、など

厚く御礼を申し上げます

研修会・講演会のご案内

◆ **定期研修会「Be サポ事例研究会」**

研修内容は、原則、奇数月に成人事例のアセスメントを中心としたもの、偶数月に子どもの事例検討を行っています。参加者の皆様とさまざまな意見を出し合いながら、その人らしさを理解し、今後の支援の在り方や方向性を一緒に考えていきたいと思います。

日時：原則、毎月第３水曜日 18：30～21：00　　場所：プラサヴェルデ沼津
参加費：Be サポ会員無料、非会員 1,000 円／1 回
参加資格：心理士、スクールカウンセラー、支援員、教員など、守秘義務を課せられた専門職の方が参加できます。
　　初めて参加される方は Be サポートまでご連絡ください。
今後の予定：9/16、10/21、11/18、12/16、1/20、2/17、3/17
※この研修会は、臨床心理士資格認定協会の資格更新ポイント（定例型）の申請を予定しています。

Be サポート業務一覧

相談・カウンセリング事業
カウンセリング、プレイセラピー、EMDR、各種心理検査

医療・保健・福祉・教育等 地域機関への協力
母子保健事業（乳幼児健診・発達相談・療育教室）
：伊豆市・伊豆の国市・清水町
教育委員会（就学支援・特別支援教育・巡回相談）
：函南町・清水町・伊豆市
市民メンタルヘルス相談　：　伊東市・富士市
県および市町主催ゲートキーパー養成事業
県立高校スクールカウンセラー・学校支援心理アドバイザー
NPO 法人静岡犯罪被害者支援センター
社会的養護関係施設第三者評価事業

被災者支援事業
東日本大震災被災者支援活動「OHANA」

不登校・ひきこもり支援事業
沼津市　：　東部圏域「なごみ」（居場所・相談）
伊豆市　：　伊豆圏域「とっこ」（県委託事業）

企業・事業所への支援事業
メンタルヘルスカウンセリング
企業研修会への講師派遣

研修・啓発事業
専門職対象の定期研修会開催
一般市民対象の講演会開催

児童発達支援事業
障害児・者総合サポートセンターみつばち
----------------------沼津市----------------------
保育所等訪問支援　／　児童発達支援「あんず」
放課後等デイサービス「かりん」
----------------------伊豆市----------------------
放課後等デイサービス「みかん」

相談支援事業
指定計画相談支援・指定障害児相談支援「び～さぽーと」

Be サポート会員募集中

NPO 法人とは利益を目的とせず、社会や地域のニーズを追求し応える活動を行う団体です。臨床心理士を中心とした有志で Be サポートを設立しました。専門的な視点から地域のさまざまなこころの問題に取り組んでいます。現在、正会員 50 名、賛助会員 4 名（2020.8 月時点）で活動しております。

私たちの活動を応援してくださる会員さんを募集しております。会員の方へは会報誌の送付、研修会や講演会での参加費が優待されます。また地域で働く援助職の方には、ネットワークづくりとしても活用していただいております。会員のご登録をいただける方は Be サポート事務所までご連絡ください。

特定非営利活動法人 臨床心理オフィス Be サポート

クローバー通信

2020 年 9 月 20日発行 Vol.24

NPO 法人 臨床心理オフィス Be サポート
〒4100056 沼津市高島町 29-11 盟萌ビル 201
Tel/Fax 055-925-1701
Mail be-sapo@mail.wbs.ne.jp
HP http://be2011.jimdo.com/
発行責任者　皆川行寛

- 新型コロナウィルス感染症対策として、Be サポートではすべての事業において「手指および室内の消毒」「常時換気」「マスク着用」「検温」等を実施しております -

みつばち伊豆　放課後等デイサービス「みかん」　始動しました

かねてより鋭意準備を進めていた伊豆市の放課後等デイサービス「みかん」が、令和２年６月１日、静岡県より無事指定を受けることが出来ました。開所をお知らせすると、伊豆市の福祉課・こども課の職員の方々や、市のスクールソーシャルワーカーさんが見学に来てくださいました。みつばち伊豆のパンフレットを市役所や児童発達支援センター「おひさま」に設置してくださっています。

そして、あっという間に「みかん」で初めて迎える夏休み。今年は、新型コロナウィルスの休校期間があったため、夏休みは約２週間と短いものでした。「みかん」の１日のスケジュールも子どもたちは初めてのため、戸惑う様子も見られました。これから、利用を重ねるなかで、予定や約束に慣れていってほしいと思います。また、沼津の放課後等デイサービス「かりん」と交流も企画し、皆で川遊びや BBQ を楽しみました。いつもと違うたくさんのお友だちの中で、楽しく遊ぶ姿はたくましく感じました。

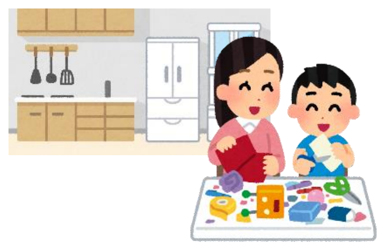
伊豆に障害児支援センター開設
沼津のNPO
「継続した療育目指す」
就学児に対応 放課後デイ開始
伊豆日日新聞 2020.

現在（令和２年８月 31 日）、登録者数６名です。まだ利用者は少ないですが、これからも行政の方々や教育委員会と連携し、地域に貢献で知るよう努めたいと思います。法人事務所からは、少し離れていますが、会員の皆様も是非みつばち伊豆に遊びに来てください。

みつばち伊豆　放課後等デイサービス「みかん」
場所　〒410-2406　静岡県伊豆市日向 364
電話　**0558-79-3632**
ホームページ　https://mitubatimikan.wixsite.com/website

寄付の御礼

放課後等デイサービス「みかん」の開所にあたり、みつばち伊豆に多くの寄付をいただきました。会員の方々から、また会員様のお声がけで事業所の開設に賛同してくださった方、本当にありがとうございました。絵本や文房具、おもちゃや座卓、ガスコンロや冷蔵庫などなど、皆様方いただいた品々がみつばち伊豆を家庭的で温かい雰囲気にしてくれています。



また、伊豆日日新聞に開所の記事が掲載されたのをみて、うさぎ薬局修善寺支店様から、手指消毒剤やボックスティッシュ、ポケットティッシュなどの寄付をいただきました。地域の方からの寄付のお申し出、大変うれしく心強く感じました。

活　動　報　告

「 コロナうつ 」に陥らないために

「コロナうつ」という言葉をＴＶやネットで散見するようになりました。感染に対する心配、先行きの見えないコロナ禍の生活変化、経済不安・・・、こころも体もついていけず、これまでは何とか踏ん張ってきた人さえも頑張りがきかなくなってしまい、不眠やイライラしやすさ、うつっぽさを感じるということが増えているようです。通っていた趣味の講座がお休みになってしまっていたりご近所付き合いも遠慮がち、ということもあるとは思いますが、こんな時ほど人の交流や気分転換が大切です。電話やメールなど、しばらく連絡を取っていない方に久しぶりに連絡を取ってみるということもいいかもしれません。お散歩、お料理、DVD 鑑賞など、自分にできるおうち時間を工夫してみてください。ベランダに出て体を大きく開いて深呼吸するだけでも、気持ちがリセットされます。

もちろんカウンセリングはとても有効です。現在 Be サポートでは、「LINE カウンセリング」を試験的に導入しています。カウンセリングを受けたいけれども出掛けるのは不安、という方は、ぜひスマホの LINE アプリの機能を利用した遠隔カウンセリングを利用してみてください。完全予約制で、事前の登録が必要です。詳細は Be サポートまでお問い合わせください。

障害児・者総合サポートセンターみつばち「あんず」

あんずは暑い夏もみんなで元気いっぱいの活動ができました。

今年は例年のプールの活動の代わりに、自分で作った船を浮かべたり、水鉄砲で遊んだり、海の生き物のスポンジやペットボトルシャワー、朝顔の石鹸色水など、水に触れる楽しい活動をしました。水鉄砲は水鉄砲を構えるポーズがみんなかっこよかったです。

夏祭りは夏ゲーム大会として、ヨーヨーつり、わなげ、魚釣り、的当てをしました。思うように出来たり出来なかったり、何個とれたよ、なんて言い合うのも良い体験ですね。ヨーヨーつりが上手な子が多くて、2 個 3 個と普通につり上げていて、上手で驚きました。暗くして綺麗な打ち上げ花火の映像もみんなで一緒に観ました。

夏の制作もスイカ、ちょうちん、ひまわりなど新しい作業にも挑戦して素敵に作りました。

障害児・者総合サポートセンターみつばち「かりん」

今年は新型コロナウィルスの影響により、毎年恒例となっていた夏祭りについても、例年通りの開催は難しいとの判断から、規模を縮小しての開催となりました。ただ、そんな中でも子どもたちは射的やスーパーボールすくいを真剣に、目一杯楽しんでくれました。

また、夏祭り名物のおばけ屋敷は、今年はホラー映像の鑑賞に切り替わりました。鑑賞前には怖がっていても、鑑賞後には楽しかったと言ってくれる子が多かったのが印象的です。嫌だ嫌だと思っていても、やってみたら案外楽しい。子どもたちにとってそういう体験の場になっていればと思います。

夏祭り以外では、保護者の方がスイカを差し入れてくださり、スイカ割り大会も行うことができました。みんなで協力して割ったスイカは、いつにも増して美味しかったです。

最後に、今年はいつもより期間が短く、様々な制限もある中での夏休みでしたが、「密」に詰め込んだ夏を、子どもたちに届けられていればいいなと感じています。

活　動　報　告

東部圏域の不登校ひきこもり支援　居場所「なごみ」

「なごみ」では、新型肺炎コロナウィルス感染拡大防止策を取りながら、居場所を必要とする方々のために開室を続けています。スタッフは部屋の消毒と換気を行い、また、利用者さんにも入室前に手指消毒とマスクの着用をお願いしています。

さて、そのような状況下ですが、毎週通ってくださる方やときどき来られる方など、みなさん各自のペースで参加されています。人数が多い時には、トランプやボードゲームをよくします。ジェンガではみんなでワーワー言って盛り上がりました。人数が少ない時には、パズルやスクラッチアートをよくします。漢字パズルが完成できずに自宅にまで持ち帰り、やっと完成させたと気づいたら夜になっていた、というほど熱中された利用者さんもいらっしゃいました。

「なごみ」が終わった後に、ある利用者さんが他の方々をお茶に誘ってくれたと、別の利用者さんからお話がありました。利用者さん同士に少しずつコミュニケーションをとる気持ちができてきたようです。スタッフも続けてきた喜びを感じた場面でした。

県委託　伊豆圏域の不登校ひきこもりサポート「とっこ」

「とっこ」は3年目の活動に入りました。コロナ対策の関係で、5 月中は会場を変えるなどがありましたが、今まで同様、利用者さんにとって心地よい時間と空間づくりを念頭に置いています。ペーパークラフト、スクラッチアート、フラワーアレンジメントなどに取り組んできました。几帳面に仕上げて提供してくれた作品は、沼津のオフィスに彩を添えています。また本を持参して読む利用者さんとスタッフのあいだで、会話が弾んだこともあります。

今年度からスマートフォンを用いた活動を始めました。場所変更などを伝えるための連絡が当初の目的でしたが、こちらから連絡をしたり、利用者さんの方からメールや電話を頂くなど、コロナ禍で参加しにくい利用者さんと定期的につながることができ、活用の幅が広がっています。外出しづらい酷暑のなか、電話越しに同じ時間を共有できることが利用者さんの生活のアクセントになればと願っています。涼しい季節に向けて、リースづくりや近隣への野外散策を計画しています。

指定計画相談支援・指定障害児相談支援「び～さぽーと」のご紹介

「び～さぽーと」は、障害福祉サービスの中の「相談支援」という事業を行っています。「相談支援」とは障害のある人がその人らしく地域で生活できるよう相談をするサービスのことで、利用者の方は無料で受けることができます。福祉サービスの情報提供をし、利用のための計画案を立て、必要に応じて助言をしたりしています。

相談支援専門員が相談を受け、利用者さんが障害福祉サービスを受けるために必要な「サービス等利用計画書」を作成します。また、関係機関や福祉事業所との連絡調整や連携を行い、障害福祉サービスの利用状況と内容をご本人やご家族と確認し、定期的に利用計画の見直し(モニタリング)を行います。利用者の方へ継続的に寄り添っていくことが大切になる事業です。